

製品名: リン酸化 CDC37 (Ser13) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe84891

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 44 kDa; Observed MW: 44 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-CDC37 (Ser13)
別名	CDC37; CDC37A; Hsp90 co-chaperone Cdc37; Hsp90 chaperone protein kinase-targeting subunit; p50Cdc37
遺伝子 ID	11140.0
SwissProt ID	Q16543
免疫原	ヒト Cdc37 の Ser13 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

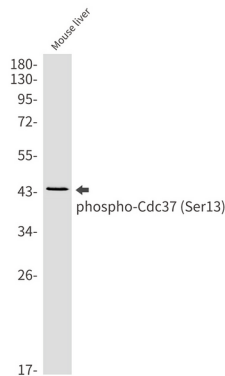
背景

CDC37 は HSP90 シャペロン複合体の重要な構成要素です。当初は細胞周期の進行に関与する因子として同定されましたが、後に様々なキナーゼやその他のタンパク質のシャペロンとして、より広範な役割を果たすことが明らかになりました。CDC37 タンパク質は、アミノ末端にキナーゼ結合ドメインを持ち、その中央に HSP90 結合ドメインが続きます。

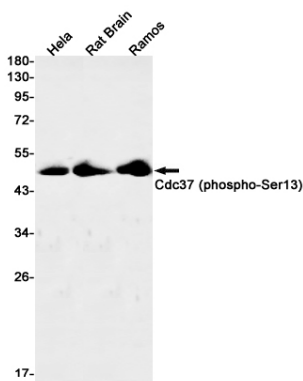
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路

画像データ



リン酸化 CDC37 (Ser13) 抗体を用いたマウス肝臓溶解物中のリン酸化 Cdc37 (Ser13) のウエスタンブロット分析。



Cdc37 (Phospho-Ser13) 抗体を使用した、Hela、ラット脳、Ramos 溶解物中の Cdc37 (Phospho-Ser13) のウエスタンブロット分析。